訓練

 $\bigcirc$ 

 $\bigcirc$ 

平成24年3月15日

宗像市公式ホームページアドレス http://www.city.munakata.lg.jp/

koho@city.munakata.fukuoka.jp

〒811-3492 福岡県宗像市東郷 1-1-1 発行:宗像市 代表:総務課 20940-36-1121 FAX 0940-37-1242 編集:情報政策課広報編集係

20940-36-1055 FAX 0940-34-2002

毎月 1日・15日 発行 今月の紙面から

### 平成24年3月15日号

3/25(日)と4/1(日)の日曜日は窓口で手続きができます、「市民課窓口から」 てんぷら油の分別収集を始めます、「みんなで3R」 ふれあいバス 4月から試験運行します宗像ユリックス&メイトム宗像便



自主防災組織の結成と活動で災害に強い地域づくりを 2 協働のまちづくりを目指して 平成24年度の各種申請を受付 4~5 国や県に代わって事務を受付 4月から市役所が窓口に 健診受診率アップへ一歩前進 まちづくり市民会議 市職員の給与と職員数を公表します 14~16

地産地消を支える学校の給食応援 団、「健康むなかた21」(24ページ)

引っ越しサービスでトラブルにならないために、「転ばぬ先の杖」 23

1~7	8.9	10.11	12	13	14~23	23	24
行政	学びの里	環境	男女共同参画	カレンダー	お知らせ	市民協働	健康・福祉

災害対策本部で初の図上訓練

けで 19団体増加した 防災組織の結成 各地 域でも、 なく (グラ 自

災に対してあらた めて考えさせられ のように備えて た1年となりま くのか」など、 合 (対策で十分なの 災害が発生した 後だけ 」「市としてど 実際に宗像市 . 「現在の では 防 防 な い

結成 未結成 H23.4.1 現在 H24.1.1 現在 66 組織 47 組織 46% 33% 96 組織 77 組織 54% 67%

付などを実施してきまし 叔援物資の 受け入れや義援金の受 への市 の送付、 の1年間 職員派遣や 被災者

定して、

災害時にどのよ するかをイメー

市内で最も起こる可能性 す。今回の図上訓練では、

久の森都病院前交差点が経過に伴い、住民から「田

マッ

危

険

定しました。 が高い風水害を想

区のため池が決壊しそう浸水している」「田島地

れて 対する

います。

練で は、

時間

などの情報が災害対

れ

係を

お

でれれ

・や関連機関、

るか分からない災害を想

ジして、

確認する訓練で

いつ起こ

フ1)、 に高まっています。 対する意識も今まで以 みなさんの防災や減災に 発になるなど、 なるなど、市I 結成後の活動 民動 b 0

が かしました。 の市職員が参 が多

## 防災への意識が高まる

博美市長をは を実施。谷井

それでは、 支援するさまざまな活動が実施されてきました。 災から1年。この1年間、各地で被災地や被災者を た、全国の自治体では防災対策の見直しに取り組む 甚大な被害を及ぼした昨年3月11日の東日本大震 日本中が真剣に災害と向き合ってきました。 い合わせ先 宗像市では何が変わったのでしょうか。 ま

### 関連記事2ページ

生活安全課 ★ (%) 5050

区消防本部の 本部では2月 協力を得て、 初の図上訓 市災害対 練



災害を想定して動きを確認する市職員ら

- 市の主な取り組み
  - ■津波、浸水調査の基礎資料作成 ●指定避難所の電源設備、上下水道など 災害時に必要な機能や設備の状況調査
  - ●自主防災組織へ資機材を配布 ●沿岸地域での津波避難訓練
  - 緊急情報伝達システムの運用開始
  - ●地デジデータ放送に防災情報を掲載
  - ●市災害対策本部図上訓練など
- 24年度以降 (予定)

23年度

(実施)

- ●地域防災計画の見直し
- 自主防災組織設立の促進、活動支援など

想定した避難訓練 (神湊地区)ドクターヘリでの搬送を

表 1



たと仮定。 認しました。 かなど、災害 の各部署がど 策本部に入っ 時の動きを確 のように連携 れに対して市 同様に、 立防災組織 訓 各地域の自 対応する 練 や地

テイ 他 8 義 東日 申 受け入れや住宅提供 被災者のホームス 金1370万56 本大震災被災地へ (2月末日現在)

0 6

配分されます。 あ

### 本大震災への支援

募金会を通じて各被災地いた義援金は、中央共同なお、みなさんから頂 りがとうございます。 どの協力をいただき、

# ありがとうございます

プ作りなど、災害に れの防災力の向上、関連機関、地域そ 互いの顔が見える 取り組みが実施さ |箇所を記した防災 つくることが、市 はないでしょうか。 とが、これからの課題で とを忘れずに継続するこ くれたもの。それによっ て変わったこと。そのこ ながります。 東日本大震災が教えて

全体の防災力の向上に



してきました。 極的に被災地支援を実施 民のみなさんと共に、積

震災か

ら1年が経過しま

い

もので、

東日本大

広報紙15日号で毎月、市IPP http://www.city.munakata.lg.jp/に掲載してい る市長ブログを紹介しています。

■問い合わせ先 秘書課 ☎(36)0890



を兼ねて昨年10月、被災る宗像市の職員への激励いう思いで、派遣してい こで目 地に足を運びました。こ にしたのは、被災

自分の目で確認したいと私は、被災地の現状を 最も重要な政策の一つに であり、市でもこれまで、 みなさんの共通した願

0

の実現は、宗像市に住む「安全・安心のまち」 せんでした。 t

りとあらゆるものが破 された現実に言葉が出ま こで生活していた人の 道路が陥没するなど、そ 山となり、電柱は倒壊し、 0 。家は崩れてがれきののすさまじい状況でし

市広報編集係では、常用漢字と新聞用字用語集を基本に、市独自の用字用語を定めて編集しています。電話=☎、ファックス=FAN、メール=FAN、ホームページ=HPPとして表記しています。 また、市民のみなさんの居住地は、コミュニティ地区名で表記しています。